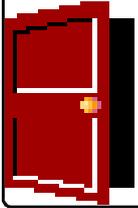


令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



# 読書活動への扉を開く！

N o 77

桑村小学校令和6年1月17日

文責 渡邊

## 教師は、とても魅力ある仕事です!!

令和5年12月26日(火)の静岡新聞の朝刊一面に、「小学校教員競争率最低 5年連続、22年度試験2.3倍 中高も低迷」というタイトルで記事が掲載されていました。

教職の仕事に携わる自分としては、何とも寂しい記事です。教師という仕事は、魅力がないのでしょうか？

自分が子供の頃は、テレビで、小学校や中学校の教師を主人公とした番組が放映されていたものです。しかし、今はどうかというあまり見かけなくなりました。

かつては、私の大好きな俳優である水谷豊氏も『熱中時代』という番組で、小学校の先生を演じていました。水谷氏の演じた北野広大先生(ドラマでの役名)は、北海道出身という設定で、子供たちとともに明るく学校生活を送り、一人一人の子供に寄り添うことを大切にしていました。子供ながらに、その優しい指導の仕方にあこがれを抱いていたのを今も覚えています。

では、教師の仕事の魅力とは何なのでしょう？

私の意見は、子供の様々な笑顔を見ることと感動する場面に出会えることです。子供とともに学び、その過程でのぞかせる最高の『笑み』。「できた!」、「分かった!」、「また、挑戦したい」、「いいね、それ!」等、素直な言葉や感性を働かせた表現に大きな幸せをいっぱいもらうことができます。そして、運動会や原生林探検、創立150周年式典などで見せた6年生のリーダーとしての成長ぶり、それが感動ある卒業式へと繋がっていき、その場面に立ち会えることが大きな幸せでもあります。

大好きな学び舎を巣立つ卒業生が泣き、6年生との別れを惜しむ在校生が泣き、6年生の成長に感動する職員が泣き、そして、これまで我が子を大切に育ててきた保護者が泣く。こうした感動ある場面に立ち会えることは、そうあることではないでしょうか。教員だからこそ味わえるものではないでしょうか。

教師は、とても魅力ある仕事です。子供の成長をすぐそばで見て、それを子供と共に喜ぶことができます。

私は、教職に就く前、4週間埼玉県与野市(現：さいたま市)の小学校で教育実習をさせていただきました。小学6年生の子供たちとともに学校生活を送りました。とにかく無我夢中で取り組んだことを覚えています。授業は社会科の歴史を主に担当しました。初めて実践した授業を終えて、指導教官が撮ったVTRをもとに振り返りを行いました。何とそこには、私が黒板に向かってひたすら授業をしている姿が映っていたのです。これでは子供たちに申し訳ないと思い、そこからの自分は必死で教材研究に向かい、授業を行いました。

教育実習の最終日、子供たちとの別れのとき。何とクラスの子供たちが「先生、ありがとう」と言って、涙を流しているのです。私も「ありがとう」と返しました。それしか子供たちには言えませんでした。(思い出し、この文章を書いているときもハンカチで涙を拭いています)

彼らとのこの出会いが私の教師としてのスタートです。子供たちへの「ありがとう」の気持ちをずっと大切にしてきました。そして、これからも大切にしていきたいと思えます。



【友達と学び合う桑っ子の姿】